

ゆきナビあおもりプロジェクト

ゆきナビあおもりプロジェクト(概要)

青森で実施する意義

青森県全域が豪雪地帯。県都青森市は人口30万人規模の都市としては日本一の豪雪都市（今年の最深積雪178cm）

システム構築に向けては、厳しい気象条件の地域においてもハードウェアの動作確認・検証が必要

雪国に暮らす全ての人にとって雪は大きなバリア

情報提供が移動負荷の軽減に寄与

情報ニーズの集積が見込まれる大都市のみならず、地方都市においても活用方策の検討が必要



ゆきナビあおもりプロジェクト(事前検証)

機器動作検証とデモンストレーション(4月)

積雪寒冷下での機器動作検証

場所：青森市八甲田山酸ヶ湯
(約4mの積雪)

試験期間：平成17年4月～5月

試験内容：積雪量影響試験

低温劣化試験 塩分影響試験

凍結・融解劣化試験



坂村教授の指導

ICタグの性能は積雪量等には影響しない

青森市柳町通りでのデモンストレーション

期間：平成17年4月11日

場所：青森市柳町通り交差点付近

実験内容：視覚障がい者用移動支援、観光情報提供等

参加者：坂村東京大学大学院教授

上野国土交通省政策統括官

三村青森県知事

ほか



三村知事(左)と坂村教授(右)

ユビキタスフェアでのシステム体験(6月)

ユビキタスフェアでのシステム体験

期間：平成17年6月21日～22日

場所：北`キタシア2005会場内体験ブース(青森市)

内容：視覚障がい者用の移動支援システム体験
シールタグ、赤外線マーカによる観光情報、
店舗情報、公共施設情報等提供の体験

体験者の90%以上の方が高く評価
(うち「非常に良い」50%以上)

ユビキタスフェア・講演・シンポジウム

期間：平成17年6月21日

場所：青森市ばるるプラザ(聴講者数約800名)

基調講演：坂村東京大学大学院教授

シンポジウム：坂村教授、大石理事長、

岡田NTT専務、情報産業等地元関係者



視覚障がい者の体験



坂村教授の基調講演

ゆきナビあおもりプロジェクト(実験計画概要)

実験実施期間：平成18年1月～2月

実験エリア：青森市柳町通り（国道4号、県道荒川停車場線）

（雪みち情報提供エリア：冬季バリアフリー重点整備地区）

（青森駅、国道4号、柳町通り、陸奥湾に囲まれた中心市街地一帯）

実験内容

積雪寒冷地での稼働検証

- ・多様な積雪環境下でのシステム稼働確認
- ・白杖・UCシステムによる歩行者誘導
- ・赤外線マーカによる誘導可能性の検証

冬季歩行環境向上への活用可能性検討

- ・快適歩道情報、道路交通情報のUC及びiBOXへの配信手法の検討
- ・iBOXのナビゲーション情報ステーションとしての活用手法検討

地域活性化への活用可能性検証

地域と連携したコンテンツ作成可能性検証

問い合わせ先：青森県企画政策部情報システム課

IT政策推進グループ TEL:017-734-9158